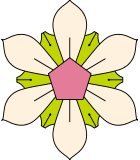


平成31年度 都立学校・学校経営シート

校章	 都立砂川高等学校 定時制課程			進路	実績	33%	短期大学	3%	専門学校	32%	就職	21%	その他	11%
	◆三部制・単位制・普通科高等学校◆ 【多様なニーズに応える、進学・自立志向の学校】				特徴	大学(含短大)・専門学校・就職、と生徒の希望に応じた多様な進路を実現させる指導								
基	所在地	〒190-8583 立川市泉町935番4		電話番号	042-537-4611									
	アクセス	(1) 多摩都市モノレール線「泉体育館」下車徒歩3分 (2) 立川バスJR中央線立川駅北口③④番から10分「泉市民体育館」下車、徒歩3分 (3) 立川バス西武拝島線玉川上水駅から(立17)立川駅北口行5分「泉市民体育館」下車、徒歩3分												
本	学科	普通科												
	在籍生徒数	448人(男子208人、女子240人)												
情	教育課程の特徴	単位制、3部制、45分12時限授業、国語・数学・英語の習熟度別授業(インテンシブ講座とベイスック講座)、進路希望に合った科目選択可能												
	ホームページ	http://www.sunagawa-h.metro.tokyo.jp/		自律経営推進予算 31年度(単位:万円)	2,417									
報	その他	学校外の学習単位認定実施校 高大連携実施校(東洋大ほか)	校服	制服	男子ブレザー型 女子ブレザー、スラックス選択可									
	その他	入募集人員 150名(I部:30名×2クラス=60名、II部:30名×2クラス=60名、III部:30名×1クラス=30名、分割前期120名、分割後期30名)												
本	情	報	情報	選抜	倍率	募集	期	部	募集区分			29年度	30年度	31年度
									1学年相当	1.41	1.42	1.65		
									2学年相当以上	0.07	0.07	0		
									1学年相当	2.16	1.3	1.55		
その他					【31年度分割前期】学力検査(5教科):調査書:面接=7:3:1 【31年度分割後期】学力検査(3教科):調査書:面接=6:4:3									
主な学校行事					校外研修(4月)、スポーツ大会(5月)、文化祭(10月)、修学旅行(2年次、2月)									

目指す学校 **進学・自立志向 一人一人が輝く砂高!**

今年度の重点目標		今年度の取組と自己評価	
目標①	不登校解消率の向上と不登校発生率の減少 ①「学力向上研究校」として「校内寺子屋」事業に取り組み、学びなおしや基礎学力の向上 ②基本的な生活習慣の定着 ③YSWやSC等の外部人材を活用し、生徒や家庭の支援 ④個に応じたきめ細やかな指導による自己肯定感・有用感の醸成	①1年次の校内寺子屋事業に合わせて、2年次生徒対象の学習支援を外部人材を活用して実施することができた。生徒の満足度も高く支援体制が定着してきた。 ②遅刻・欠席・早退の合計数が10回以内の生徒は各年次目標値である20%を超えることができた。 ③各曜日にSCやYSWを配置し、担任・養護教諭・自立支援担当教員中心に情報を収集しすぐにSC等につないだ。学期に1回SC・YSW・年次保健相談部の担当会議を行い情報共有を行った。 ④学期に1回は個人面談を実施。各行事では主体的に役割分担させ、達成感や有用感を醸成した。	
目標②	組織的・効率的な学校経営体制の確立、働き方改革 ①年次会・分掌会と企画調整会議での双方向での協議の深化 ②経営参画意識に基づくボトムアップとトップダウンのバランス良い学校経営 ③組織的かつ効率的な組織運営による職員の健康やライフ・ワーク・バランスに配慮した学校運営体制作り	①分掌から提案された事案について各年次会で検討し報告することで、協議が深化できた。また、年次、分掌から出てきた課題に対して企画調整会議で検討し解決する流れができた。 ②各分掌・年次の経営参画意識を醸成させる取り組みは不足した。トップダウンの発案への取り組みはおおむね取り組めた。 ③超過勤務月80時間以上の教員延べ人数1名で昨年度に比較して12名減となった。	
目標③	新学習指導要領、高大接続改革に向けた取り組み ①グランドデザインの構築とそれに基づいた授業改善の取り組み ②教務主任会または教育課程委員会と各教科会との情報連絡の活発化 ③生徒が能動的に参加できる授業方法の組織的な研究	①グランドデザインプロジェクトチームを中心に本校の特性に合わせたグランドデザインが作成された。アクティブラーニング型の授業を取り入れた教職員の割合が50%を超えた。 ②教科主任会・教育課程委員会を定期的の実施し、グランドデザインの進捗状況を報告した。来年度の教育課程編成に向けての準備ができた。 ③ICTの活用率40.0%(昨年度34.3%)、教員間の相互授業見学の活性化が実現できた。研究授業の参観者数が増加し、各授業で10名以上の参観者があった。	

数値目標	今年度の数値目標の内容	28年度		29年度		30年度		今年度		32年度	33年度	34年度
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
目標①	特色ある学校づくりによる、入選倍率(分割前期)1.6倍以上	1.5	1.41	1.5	1.42	1.5	1.65	1.6	1.27	1.6	1.6	1.6
目標②	卒業生徒の希望進路実現。進路が明確に決定した生徒の割合90%以上。	90	90	90	88	90	90	90	90	95	95	95
目標③	中途退学者数・中退率の減少	20/4.5	17/3.9	16/3.5	22/4.7	16/3.5	14/3.1	12/2.7	13/2.9	10/2.2	10/2.2	10/2.2